

「地域を愛し、地域に愛される『さわやか長府っ子』の育成」をめざして

下関市立長府小学校

学校運営協議会について

○主な協議内容

- ・学校運営(学校運営の質の向上)
本年度学校運営状況の説明と学校評価アンケート結果の共有
- ・学校支援(学校教育の質の向上)
授業や日常的な支援及び学校行事等への支援
- ・地域貢献(地域のよりどころとなる学校づくり)
地域の行事等への参加



長成中校区学校運営協議会

○熟議

- ・「もっと地域住民が来校される学校にするには」
- ・「あいさつの習慣を広げていくには」

特色ある活動

○「あいさTODAY（あいさつ運動）」

気持ちの良いあいさつを広げるため、毎月12日を「あいさTODAY」とし、児童の登校時刻に合わせて、長府小学校正門前や各家庭(地域)において、保護者や地域の方とあいさつを交わすこととしました。

成果としては、まだ十分とはいえませんが、地域の方に積極的にあいさつをしたり、校内で出会った保護者にあいさつをしたりする児童が増えてきました。互いに顔見知りになることで、より気持ちの通い合うあいさつをすることができるようになってきていると考えられます。学校評価アンケート(保護者)でも、あいさつをすることの意義や、今後、大人も積極的にあいさつをしていく等、より地域を挙げてのあいさつ運動が大切であるという意見をいただいています。



○「ふるさと祭り」

夏に開催される「ふるさと祭り」で6年生がソーラン節を披露しています。また、祭りの最後の「平家踊り」には、自治会、保護者、児童総勢1,000人余りが参加し、児童の元気が祭りを盛り上げる一助となっています。



来年度に向けて

- 3学期に学校運営協議会委員に授業参観をしていただき、その後の協議会で学校評価結果の検討とともに、次年度の学校運営方針を提示し、周知を図ります。
- 長府東部地区まちづくり協議会と更なる連携を図り、地域総がかりで、地域住民、保護者及び子供とともにふるさと下関及び長府を愛する心を育てていく取組を展開していきたいと考えています。

「地域とともにある学校」をめざして

下関市立長成中学校

学校運営協議会について

(1) 委員の構成

14名（コーディネーター、公民館長、婦人会長、自治連合会長、青少協会長、体育協会長、教育後援会長、ボランティア団体会長2名、地域代表2名、PTA役員2名、校長、教頭）

(2) 実施回数

○学期に1回開催

○長府小学校と開催日時や会場を調整し、長成中校区学校運営協議会も開催する。

(3) 主な協議内容

○第1回（5月） 小・中合同開催

・本年度学校運営方針等の説明

・熟議 「小中一貫教育による子どもの育成」について

○第2回（10月）

・授業参観

・学級の生徒と共に給食試食会



給食試食会

(4) コーディネーターの活動

① 校内の花生けのために、学校の担当者やボランティアスタッフと打合せ

② 学校支援活動のボランティア受け入れの窓口

③ 図書ボランティアによる図書室整備・カバー貼り等

特色ある活動

(1) 地域の方々の学校支援活動

○学校環境整備

毎週月曜日の昼休みに、地域ボランティアの方々が有志の生徒とともに校内の花生けを行います。また、毎週火曜日の昼休みに、地域ボランティアの方が図書室の本の整理、カバー貼り、部屋の装飾などを行います。学校評価アンケートでは、「いつも校舎内外に花があり、とても綺麗で心が癒やされる。」という意見をいただいています。

(2) 生徒による地域貢献

○小中合同V S活動

小学校の児童と共に校区内を小グループに分かれて実施。ボランティア清掃活動を通して地域のために奉仕する精神を養います。



来年度に向けて

(1) 学校・地域・家庭の連携をこれまで以上に密にし、地域に根ざした活動を今以上に推進していきます。

(2) 小・中一貫教育により「掃除、挨拶、読書」に力点をおき、9年間の子どもの学びの質をより一層高めていきます。